



### 日本から発信される環境教育プログラムの先駆けとして...

今まで環境教育のプログラムというと、海外で開発されたものがほとんどでした。プログラムとしてすぐれていても、それが日本の自然～生き物の種類や気候風土～にぴったり合うかという、必ずしもそうはいかなかったのが現状ではないでしょうか。

『ネイチャー・ボード』シリーズ発売に先立ち、埼玉大学の阿部治先生を訪ね、研究室の学生の方と一緒にゲームを体験していただきました。その際、「このゲームが日本から発信される環境教育プログラムの先駆けになるだろう」という評価をいただきました。

日本の身近な自然の中でくり広げられている世界を、ボードやカードを使ったゲームというかたちに翻訳した『ネイチャー・ボード』。ゲームという入り口から身近な自然を感

じてもらい、実際にフィールドに足を運ぶきっかけとなれば...。ゲームのひとつひとつには、我々のそんな願いが込められているのです。



### 小学校の授業でも好評だった『オークライフ』

コピスでは、『ネイチャー・ボード』を使った講座の開催や小学校の授業への協力など、いろいろな人を対象にゲームを体験していただく場を設けています。

昨秋の発売以降、シリーズ第1弾の『オークライフ』を使って、神奈川県と世田谷区内の小学校で授業を行いました。

『オークライフ』は、オーク（ナラの木）を中心にくり広げられる生き物たちの営みを体験するゲームです。日本の里山で暮らす22種類の生き物のカードを、それぞれの「出現期（見られる時期）」と「食う・食われる」関係に合わせて、ボード

上に出していきます。『カモ池ピオトープ』より、多少ルールは複雑なので、対象年齢は10歳以上に設定しています。

小学校の授業では、ゲームを始める前にカードに登場する生き物の紹介を、標本などを交えて行いました。ルールの説明をひとつおりました後、グループに分かれてゲームを体験してもらいましたが、子どもたちの理解は意外と早く、ときどき季節に合わないカードを出そうとしている子もいましたが、概ねきちんと理解されていたようです。授業の様子が写真入で新聞に掲載されたため、各地の学校や役所などからも問い合わせが相次いでいます。

このように、日本の身近な自然を題材とした『ネイチャー・ボード』は、これからの時代に向けて大いなる可能性を秘めた環境教育プログラムであると言えるのではないのでしょうか。

((有)コピス・加藤奈津江)



生き物たちの「出現期（見られる時期）」と「食う・食われる」関係に合わせて、ボード上にカードを出していく『オークライフ』。ゲームボードの上に、生き物たちのつながりが展開されます。



オークライフ ￥3,300  
カモ池ピオトープ ￥2,500  
\*いずれも税別価格  
3～5人で楽しめます。

お申し込み・お問い合わせは・・・

有限会社コピス

〒154-0015

東京都世田谷区桜新町2-22-3NDSビル4F

TEL : 03-5450-2160

FAX : 03-5450-3701

E-mail : coppice@tky3.3web.ne.jp

電話での受付時間 / 10:00～18:00  
八ガキ、FAX、E-mailでお申し込みの場合は、住所・氏名・電話番号・希望個数をご明記ください。

『ネイチャーボード』とフィールドでの自然観察を組み合わせた講座も開催しています。詳しくは上記まで、お問い合わせください。